

青洲高校 会社見学 - 地域課題ワーク

深層レポート

近ごろ都に流行るもの

地方政治・行政

地域経済

まち・文化

味・旅・遊

令和人国記

「財政非常事態」のイメージ改善



市川三郷町は、1千年続く和紙の産地だ。一瀬さんは4月13日に、和紙をPRするイベント「金長マルシ」

地方政治・行政

「もともと、お祭りが好きな地域。（財政非常事態宣言で）沈んでいる町の雰囲気を変えて、盛り上げよう」と初めて企画した。この語るのは、市川三郷町で糸入和紙やデザイン障子紙などの製造・販売を手掛ける「金長特殊製紙」の5代目、一瀬清治さんだ。

MTBや和紙PR

市川三郷町は、1千年続く和紙の産地だ。一瀬さんは4月13日に、和紙をPRするイベント「金長マルシ」



「財政非常事態宣言」で沈む町の雰囲気を盛り上げようと、地元企業が開いた和紙関連のイベント。4月13日、山梨県市川三郷町

市川三郷町 地場産業など草の根活動

財政が悪化し、このままでは最低限の行政サービスの維持も難しくなかねないとして、昨年9月に「財政非常事態宣言」を出した山梨県市川三郷町。町は遅ればせながら財政再建に本腰を入れているが、地場産業や地域おこし組織、高校などが地域活性化のために草の根レベルでの取り組みに乗り出した。「財政破綻危機」という負のイメージの改善につながるか。

（平尾孝、写真も）

エを開いた。案内文には「財政非常事態宣言などネガティブなイメージの町を元気にしたい」と自身の思いを書き込んだ。イベントでは、和紙を使った「おさんぽ風作教室」や「折り染体験」を開いたほか、キッチンカーも出店、親子連れらでにぎわい、一瀬さんも手応えを感じている。アウトドアスポーツのマウンテンバイク（MTB）を中心に活動する地域おこし組織「YAMANASHI I MTB山守人」（同県南アルプス市）は昨年4月に市川三郷町との間で、地域活性化や地域創生に向けた包括連携協定を結んだ。環境保全も、両者による連携の対象だ。4月6日には、町内の丘陵地帯にある公園に、山守人のメンバーや遠藤浩町長、ボランティアで参加した町職員ら約40人が集合し、草が生い茂るなどして荒れ気味だった園内の整備に汗をかけた。

山守人の代表、町間亮さんは「MTBの拠点としながら、公園として活用できるように再生させる」と話した。直線距離で約3キロ離れた場所にある、山梨県でも有数の景勝地である四尾連湖までのサイクリングロードのスタート地点として、この公園を利用できるとみて、山守人は草刈りなどの整備を続ける考えだ。

地元高校生も提案

市川三郷町に本社があり紙製品や産業包装用品の製造・販売を手掛ける「マルアイ」と、同社に隣接する市川三郷町立青洲高校の生徒はこのほど、共同で「地域課題解決アイデア創出ワーク」に決意を固めた。財政の悪化を受けて町が閉鎖方針を示している町内の公園を軸に、「グランピング」の施設や地場産業である和紙を活用したプラネタリウムをつくるといったアイデアをまとめ、遠藤町長に提案した。

このほか、市川三郷町の出身者が構成する「町ゆかりの会 りんどう」は、青洲高と日本体育大学在学原高校（東京都大田区）野球部との交流試合や、青洲高の前身の一つで春夏の甲子園にも複数回出場した旧市川高校のOBによる野球教室を、ともに25日に開く。

遠藤町長は「財政的に大変厳しい状態にあるが、こういった（民間の）取り組みの広がりが地域を盛り上げ、再生に向けたスピードを上げていく」と期待を寄せている。

スリム化先送り…公共施設削減に本腰

市川三郷町は市川大門、三珠、六郷の3町が平成17年10月に合併して誕生した。18、27年度の10年間は旧3町ごとに算定した普通交付税の合算額が全額保障されたが、28年度から段階的にカットされ、令和2年度をもちこの措置は終了。これにより、地方交付税が約4億5千万円減となった。またこの間、人口減少も進んだことで、4年度の町税収入はピーク時と比べて約15%減っている。

本来であれば合併を機に公共施設の統廃合や非常勤職員の削減などでスリム化を進めるべきだったが、市川三郷町の場合、合併後に廃止した公共施設は保育所1カ所のみ。国の優遇措置が終われば収入減に直面することは予測できていたにもかかわらず、痛みを先送りし続けた結果、財政非常事態宣言に追い込まれた。

財政難を乗り切るために町が昨年12月に策定した行財政改革推進計画は、期間を3年間とした。収入に対して、人件費や社会保障費などの固定的な支出が占める割合を示す「経常収支比率」を、3年度の98・1%から95%以下に改善させる。公共施設では、現在8つある博物館などは6つを廃止し、3つある図書館も1つに統廃合。8つある公営団地も5つに減らす。